



鈴木 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

<討議資料> 4年間の活動報告

平成26年2月号

鈴木としお後援会 No 17

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

TEL/fax : 37-2307

Eメール toshio@ninus.ocn.ne.jp

まだまだ雪の季節・・・お変わりございませんか？

暦の上では「春」になりましたが、まだまだ寒さの厳しい毎日でございます。皆様におかれましては、如何な毎日でしょうか。

さて、私は皆さんに送って頂きました議会、もう4年になろうとしています。改めてこれまでのご支援、激励の数々に感謝致し、この4年間の活動を報告させていただきます。

この4年間にまちは大きく変化致しました。離職者の増加など雇用の問題が顕著となり、熱回収施設の建設が決まり、今後は前川・象潟2号線の建設、また、観光施設建設などの大型プロジェクトが示されています、各々の定例会で討議をして参ったところですが、皆さんの意見をお聞かせいただければと思います。

この26日からは、平成26年度の予算が主体の定例会が召集されています。これにも皆さんのご意見等承ることが出来れば幸甚でございます。ご意見は下記、HPからもアクセス出来ます。

寒暖の差の大きい昨今、どうぞご自愛下さい。

URL <http://suzuki-toshio.jp>

ブログ <http://totikun.cocolog-nifty.com/blog>

これまでの一般質問

会議における議員のひとつの権利に「質疑、質問、討論などの発言権」があります。その中で、一般質問は年4回だけ出来る質問です。

これに、私はこれまで37項目にわたり、13回の質問台に立たせて頂きました。質問すればいいということではありませんが、折角与えられた権利を放棄すべきでないとの判断です。

それに、賛否の討論に2回ほど立たせて頂きました。いずれも当市の将来を考え、市民目線にたって発言しました。

以下は、私のこれまでの一般質問と内容の要旨です。

この4年間の一般質問

	定例会	年月日	質問項目	内容の要旨
1	9月定例会	22・9・8	・市政運営とその姿勢について ・学校の統廃合について	再選された1年をどう総括するのか 将来構想委員会の提言をどのように
2	3月定例会	23・3・7	・災害対策について ・ゴミ処理施設の建設について ・農業の振興方策について	防災無線の運用及び情報の取得は？ 単独建設に至った経緯とスケジュール 減反の増える中の振興方策は？
3	6月定例会	23・6・14	・災害への対応について ・安心して暮らせるまちづくりについて	職員の出勤態勢、各集落への伝達は 今年度の防災訓練は？防災マップ見直し
4	9月定例会	23・9・8	・任期の折り返しにあたっての決意と課題	2期目を総括し課題にどう取り組むのか
5	12月定例会	23・12・13	・震災の瓦礫受入れについて ・にかほ市地域振興交付金の創設について	当市でも瓦礫受入れるか 概要は？ばらまきはすべきでない。
6	3月定例会	h24・3・5	・TDKの再編がもたらす影響と対策は ・鳥海山噴火対策と災害基本条例の制定 ・「白瀬中尉物語」の公演をにかほ市で	雇用、税収、市内の空洞化の懸念 「災害対策基本条例」を制定すべき 白瀬ミュージカルを当市で開催を
7	6月定例会	h24・6・19	・通学路の安全対策について ・上水道施設の耐震化率の向上について	歩道の未設置箇所の対応策は？ 今後の耐震化率の進め方は？
8	9月定例会	h24・9・10	・小学校の統合について	院内・小出小学校の統合について

			・高齢者世帯対策について	今後増えてくる高齢者への対策は？
			・市長の面会日について	面会のない月が多い、今後の対応は？
9	3月定例会	h25・3・5	・津波浸水想定に対する考え方	防災計画に変更があるのか？
			・有害物質 PM2.5への対応は	市民にどう情報提供するのか？
			・今後における橋梁補修計画は	長寿命化修繕計画の進め方をどうするか
10	6月定例会	h25・6・18	・チャレンジデー2013を終えて	市民の意識向上の機会、対策は？
			・成果の出る地域振興交付金の運用を	成果が出るための方策は？
11	9月定例会	h25・9	・高齢者の生きがい対策について	生きがい対策は支援だけでなく環境作りを
			・学校の統合計画、その後の状況	統合準備委員会の設置の目的・内容は
			・市長選にあたっての公約は	2期目をどう総括して臨むのか、
12	12月定例会	h25・12	・3期目の市政への取組みについて	市政運営の具体的な手法は？
	(会派代表)		・1次産業の振興と雇用創出について	6次産業化による農業振興と雇用の創出
			・寝台特急「あけぼの」の存続運動を	観光客誘致にも又市民の足として運動を

主な討論

	定例会	討論	議案	理由
1	h24・3・22	反対討論	平成24年度 一般会計予算について	予算で最優先されるのは雇用だ、道路新設はまだ議論が不足している、ゴミ施設建設の単独建設は再考すべきである。
2	h25・3・22	賛成討論	平成25年度 一般会計予算について	概ね賛成する、だが、ゴミ処理施設の単独建設は反対だ。政務活動費は市民の理解が今は得られない。この意見を付す。

こうした考え方で活動しています

災害に対して	いつどこでどんな形で発生するかも知れない災害だ。当然、行政だけでの対応は不可能であり、万が一のことがあった場合のことを考えて、事前に市民の役割、企業の役割等を考えておくべきであり、「災害対策基本条例」を制定すべき。
雇用創出について	新産業創出プロジェクトのひとつとして、使用済み紙おむつを燃料資源化するための研究は評価したい。今後、利活用計画に注目している。
雇用創出する農林水産業の支援を	なかなか企業の誘致が進展しない現況から、地域で雇用を作ることも大事だ。その根幹として廃校になる校舎を活用して、農林水産業の6次産業化を進めて、地域の特産物の開発を目指すべき。
高齢者対策	団塊世代が高齢者の域に入った。ただし、仕事をしたいという意欲の旺盛な方が多くで、これまで得てきた技などを社会に貢献してもらう体制が必要だ。単なる支援のみでなく、社会の一員として発揮できるような支援をすべき。
小学校の統廃合	あくまでも生徒のことを考え、地域や父兄の理解の下に行うべきだ。今回の第一弾としての小出・院内小学校の統合では、どうしようと胸をはって児童が、登校できるような環境を整備してほしい。
観光拠点センター	観光の拠点としてどう構築していくのか、もっと市民に説明すべきだ。今後、県境間の高速道の開通を見込んで、特色のある施設にすべき。

1月に臨時会がありました・・・消化器がん研究講座の開設

今年4月から、東京医科大学から由利組合病院に医師数名を派遣してもらい、3年間で消化器がんの早期診断、また治療体制の構築を目指すもので、これに本市では3年間で1,800万円負担するという内容でした。これまで、同病院には消化器系の医師が不足していましたが、この4月からは医師不足は解消されそうです。